

【重点課題 2】看護師基礎教育の4年制化

重点政策・重点事業などの必要性について「看護の日」キャラクター「かんごちゃん」からの質問に、分かりやすく回答します。



看護師になるための教育に重要なことはなに？

日本は、少子超高齢社会が進展し総人口が減少している一方で、高齢者人口が増加し、2025年には75歳以上が全人口の約18%に達することが予測されています。また、要介護状態の人、複数の疾病や認知症を抱える人の増加、核家族化がさらに進むことによる独居高齢者の増加、地域のつながりの希薄化などの変化が生じています。こうした中で、2025年を見据えた社会保障制度の改革が進められています。社会・医療環境の変化の中、看護師には、幅広い場において、複雑な状況にある対象の情報を統合し、タイムリーな判断を行いながら、その人の価値を尊重した看護を提供することが求められています。こうした変化を、皆さんもまさに実感していると思います。

国民や関係職種からの役割発揮の期待に応えるために、看護師はこれまで以上に高い能力を習得する必要があると、抜本的な教育制度の改革が必要であると考えています。そこで本会は、将来を担う看護師にとって必要な教育内容を学ぶ時間が十分に確保できるよう、看護師基礎教育の4年制化に向けた取り組みを推進していきます。

看護師の役割発揮に向けて、これまで以上に高い能力を身に付ける必要があるんだね。



看護師基礎教育は、3年で限界？ それはどうして？

看護師基礎教育は時代の求めに応じ、カリキュラムの改正、教育内容の充実が図られ、本年度から施行となった改正カリキュラムでは、基準となる単位数が改正前の97単位以上から102単位以上まで増加しました。しかし、看護師基礎教育は3年間の修業年限を前提としたものであるため、必要な教育内容を含めた単位数に増加することはできません。また、これまで看護学の専門分野が確立していく一方で、臨地実習の総単位数は据え置かれているため、1専門科目当たりの実習時間数は減少しています。看護を取り巻く環境が変化し、看護師に求められる能力が高くなっている中で、さらなる臨床推論能力や実践能力を身に付けることが必要となっています。

本会は、看護師基礎教育をさらに充実させなければ、看護師が安全に医療を提供することが難しくなると考え、3年間の前提に教育内容を検討することは限界であると考えています。看護師基礎教育の4年制化を実現することによって、必要な教育時間を確保し、新卒看護師の臨床実践能力の向上を図っていきたいと考えています。

看護師基礎教育で学ぶべきことが増えているから、4年制化する必要があるんだね。



看護師基礎教育の4年制化に向け看護協会ではどんな取り組みをしているの？

看護師基礎教育の4年制化を実現するためには、保健師助産師看護師法を改正する必要があります。そのためには、看護師基礎教育に関わる教育機関や臨床等の現場、自治体、関係機関・団体、そして、看護職の皆さんの理解を得ることが必要です。その際、看護師基礎教育の実態を踏まえて、分かりやすく説明することで、4年制化の必要性を理解してもらうことが重要になります。このため、本会では2018年度から「看護師基礎教育を考える会」を全国各地で開催し、県内関係者の参集の下、看護基礎教育の現状と方向性を共有すべく、取り組んでいます。また、4年制化の実現に向け、厚生労働省や文部科学省に要望書を提出し、教育年限延長の必要性を説明しています。

4年制化の実現には、看護教員の増加など関連するさまざまな課題への対応も必要です。本会では、看護教員の量および質の確保に向け、看護師養成所と病院の人材交流のモデル構築事業を2021年度から実施しています。また、本年度、「協会ニュース」を活用し、看護教員の仕事の魅力について発信するなどの取り組みを進めます。

看護協会は、4年制化に向けみんなに理解してもらったり、国に働きかけているんだね。

● 看護師基礎教育の4年制化の推進

https://www.nurse.or.jp/nursing/4th_year/index.html